

# 水都大阪再発見クルーズ② 川から巡る大阪の建築今昔

## はじめに

江戸時代に、天下の台所として繁栄した大阪は、明治維新の後、一時的に衰退しました。しかし、明治20年代ころから紡績業の発展を基盤にして、それまでの商業都市から、新しい工業都市として復興していきました。一方、中之島も明治維新の後には、蔵屋敷の廃止に伴い、一時期はさびれますが、やがて市役所や日銀、公園などが整備され、大阪の中心地として復興します。その過程で、大阪有数の近代建築が中之島周辺に建設されました。今日はその様子を船の上からご案内します。

10 リーガロイヤルホテル



11 ダイビル



12 朝日新聞ビル



13 大阪府立中之島図書館



14 大阪市中央公会堂



9 川口基督教会



8 川口界限



5 大阪天満宮御旅所



7 道頓堀の水門



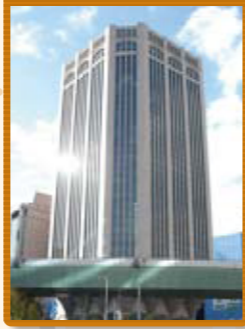
6 江之子島の府庁と市役所



3 三井住友銀行大阪本店



4 大同生命ビル



1 大阪市役所



2 日本銀行大阪支店



17 泉布観



16 桜宮橋



18 源八橋



15 川崎橋



19 旧大林組ビル



## おわりに

如何でしたでしょうか。明治・大正期のおもむきを伝える建築を中心に、中之島をめぐるしてきました。中之島といえば、超高層ビルが立ち並ぶオフィス街のイメージで語られることが多いのですが、実は戦前に建てられたモダン建築の町でもあったのです。しかし、現在に伝えられているからといって、今後も末永く保存されるという保障はありません。より多くの市民が、これらの愛すべき建築物を見続けることが、その存続に大きな力となるのだと思います。今日は船から眺めましたが、明日は、実際に足を運んでいただくと嬉しいです。